

# 圓福寺報



圓福寺報 第四十七号  
 平成十八年七月十五日発行  
 発行者 臨濟宗妙心寺派 圓福寺  
 千葉市稲毛区穴川町三七五 TEL(二五二)九一八一  
<http://www.bnet.co.jp/enpukuji/>  
 E-mail: enpukuji@come.bnet.co.jp

## ご詠歌の

## 響き溢れる

## 初施餓鬼

足掛け二年、練習してきたご詠歌を、今年の初盆施餓鬼で初めて奉詠させていただきました。

初めてお施餓鬼にお参りされた方、初めてご詠歌を聞く方、奉詠する方も皆さんの前で初めてのご披露・・・と、初物尽くしのお施餓鬼となりました。

静まりかえった堂内にご詠歌の響きが溢れ、お参りされる側もする側も、唱える側も聞く側も、清々しいところになりました。

### 目次

法話

「つきしん」

2

——植物に学ぶ煩惱無尽誓願断

花園会青壮年部研修会感想記

6

石井 昭夫さん

お寺と和尚の記録抄

9

お寺の情報公開ページ その十六

「寺から半里」

くわが町かど探索(その2)

熊倉 浩 10

穴川花園幼稚園 園だよりから

「怒り」は感情から、「叱り」は愛情から

第23回花園会ゴルフ大会報告

平成十七年度花園会会計報告

地蔵盆のご案内

14 15 15 16



されて、生活がそして人生までおかしくなるからです。まさにそれを地で行っ

「お金儲けして何が悪い。」と、ある投資会社の社長が言ったことは記憶に新しいと思います。仏教でそれを否定することはありません。ただし、その儲けたお金に執着してしまふとそれは煩惱と言われ、戒められます。それが苦しみの種となり、それに振り回

# つきしん

## 植物に学ばず煩惱無尽誓願断

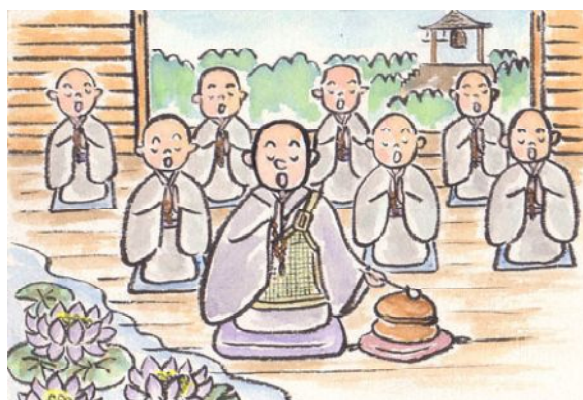
### 四弘誓願文 しぐせいがんもん

たような事件が世間を騒がせました。

仏教には、「四弘誓願文」というお経があります。誓いを立てて願う四つのことば、仏教徒のスローガンといつてもいいでしょう。

**衆生無辺誓願度** しゅじょうむへんせいがんど  
**煩惱無尽誓願断** ぼんのうむじんせいがんだん  
**法門無量誓願学** ほうもんむりょうせいがんがく  
**仏道無上誓願成** ぶつどうむじょうせいがんじょう

この二句目で、私たちの煩惱は尽きることがなく、次から次へと起こってきますが、それを断じて



い心を持つようにつとめましょうということになります。

お金に対して執着をなくすための身近なものとしては、「喜捨」という行があります。お寺のお賽銭箱に、喜捨と書いてあるのをご覧になったことがあるかと思えます。お賽銭を喜んで捨てて、お金に対しての執着するところをなくしましょうというのです。そこには、神仏に対しての祈願が成就す

いきましようど誓願をおこします。煩惱の元は執着やとらわれのころですから、とらわれな



められています。

るためであったり、成就に対するお礼や対価ではなく、行としてのお賽銭ですよとの意味が込

### てきしん

幼稚園の子どもたちが二階のベランダで、とある植物を育てています。子どもたちにはなんの種か教えていませんから、とある植物としておきましょう。プラスチックの小さな植木鉢に種をまいて、本葉が出てきたところに、自分たちで大きな木製のプランターを作り、そこに移植をしました。移植なんて初めての事です。植木鉢を逆さにして目にした真っ白い根のか



弱さに驚き、丁寧に大事そうに移植をしたようです。きちんと根がつくだろうか、大きく育つてくれるだろうか、水やりをし毎日のぞいて、ようやく本葉が十枚ぐらいになりました。大きいものは、子どもたちより背が高くなっています。ツルも伸びてきて、支柱に巻きつきはじめました。この時期に、「てきしん」という作業をしなければいけません。

ご存知のようには、「てきしん」は伸びてきた先端を摘み込んでやることです。



てきしんをすると、脇芽が伸びてきます。親の茎から脇芽が伸びて、子の茎となります。その先も摘みまんで、孫の茎が伸びて、花や実はその孫の茎にたくさんつきます。たくさんつくだけでなく、しっかりと実も結ぶようになるそうです。概して弱い植物は花をたくさん咲かせ、たくさん種のを作ろうとします。しかし、肥料もたつぷり、お日様もたくさん浴び、水も十分与えられている植物は、のほほん



と育つて子孫を残そうという本能を鈍らせてしまします。柿の木は、実

をつけさせるために幹をなただで傷つけたりもするそうです。フジも、花をたくさん咲かせようと思っただけ、幹や根をいじめるといいそうです。てきしんもそのような効果があるのでしょうか。

しかし、栽培方法や植物の特性を知っても、種から育てて、プランターに移植して、子どもたちより大きくなった先端を摘むことは、子どもたちにも先生たちにとってもつらいことです。もうそろそろ

摘まんでやらないといけないう、何回も言っているのですが、やれどここをきれいにいかかわらないとか、今日は忙しくて子どもたちとじっくり取り組めないからなどといった、先延ばしにしてみました。それで、先日ようやくてきしんをしました。

### 摘心

てきしんというのを、私は勘違いをしていて、芯を摘むとばかり思っていたら、広辞苑では摘芯とすることが出てきません。ここを摘むと書く「摘心」が正しいようです。園芸の本などでは摘芯と使われることがあります。慣例や意味合いから生まれたことばのようです。

子どもたちを見ていると、植物

の芯を摘むよりも、ようやく大きくなったとある植物を見て、うれしいとか愛おしいか思っている心までもが摘まれるというのがよくわかります。ですから、摘心なのかと気づかされました。それはいろいろなものに対する執着するころやとらわれたころを摘むころにもつながります。煩惱無尽誓願断、そのものです。それにとらわれると、花も咲かせず、当然実もつけないひよろひよろの葉っぱだけの植物になってしまいます。



摘心された植物は、脇芽をぐんぐん伸ばし葉の茂り方もいままでとは違ってくるのが目に見えてわかります。脇芽もまた摘心してやりません。する

と、孫の茎が伸びてきます。孫の成長は、人間と同じでみるみるです。そして、いつの間にか孫の茎にはおしべとめしべがたくさんつき始めます。

これを私たちに置き換えてみると、煩惱の執着するところやとらわれたところを摘むと、また次の煩惱が表れます。しかし、摘心を繰り返していくと、たくさんの花が咲き、立派な実を結ぶように、私たちにもとらわれないところが芽生えたり、違ったものの見方ができるようになるに違いありません。

**摘心には勇気が必要**

禅の言葉に「百尺竿頭進一步」というのがあります。一生懸命修行をする、あるいは勉強をして経験を積んでいく、たくさんの知識・経験をjして、地位や名誉を手に入れ



た状態が、百尺というとてもなぐ高い竿のてっぺんから一歩足を踏す。そのてっぺんから一歩足を踏み出せというのですから、今までの知識や経験、名誉や地位などを徹底的に否定することに他なりません。そんな高い竿の先から足を踏み出したら、まっさかさまに落ちてしまいます。しかし、その場所から足を踏み出さない限り、その場に安住し執着することになります。そこで、勇気を奮って一歩踏み出すのです。摘心は、それぐらい勇気のいることです。それぐらい大きな勇気をもって摘心していかな

ければ私たちの苦しみの元である煩惱はなくなりません。

自分の中にある煩惱の種、執着するところ・とらわれたところをなくすために、私たちもとある植物と同じように勇気をもって摘心を繰り返していききたいものです。

子どもたちの育てているとある植物は、たくさんの実をつけるので、千成〇〇ともいわれます。私たちも摘心を繰り返すことで、うらなりの人生を送らないにちがありません。





かった。そして、高校卒業する頃には、幾つものプロ球団から、スカウトされたそうです。その時、彼は、野村がいる南海、藤尾がいる巨人、この二球団には、絶対に行かない、と決めていたそうです。広島カープにいたから、今の私があると、謙虚に述べていました。鉄人衣笠と呼ばれた原点、由縁はここにあったのか、と思わせました。

目標に向かって、実現するまで、限りなく努力、精進すること、そして忍耐が大事である、これが衣笠氏の講演の趣旨であったと思います。

衣笠氏の講演が終わって、次に一龍斎貞花師による講談がはじまりました。題目は、六百五十年の遠忌にちなんで「無相大師一代記」でした。

こうして三時間半に及ぶ話が終



に驚きました。中に入ると、時の流れ感じさせる黒光りする、太く巨大な柱が何本も、天井高く伸びていた。その天井には、大きな龍が、眼光鋭く、下にいる者、威嚇、睨みながら、悠々と泳いでいる。薄暗く落ち着きのあるこの場所は正に、坐禅にふさわしく、身が引き締まる思いでした。

ここでの坐禅は、夕方五時過ぎ

わり、このつぎは、場所移しての坐禅でした。一同皆二六〇人が法堂に、静かにすると、飲み込まれていく、その建物の大きさ

と、翌日の早朝六時半の二回行われました。着いた当日の夕方五時過ぎの坐禅は、やたら雑念が生じ、生まれて初めてするせいもあってか、なかなか落ち着けなかった。坐禅するも坐禅に非ずと感じたものでした。自分の周りで音が、バシバシと聞こえるものだから、つい薄目開けて、辺り見回したら、キョロキョロするでない、と一喝された。眼だけ動かしただのに、誰かほかの人ではないかと思ったり、自分の往生際の悪さに反省しきりであつた。しかし、翌日早朝の坐禅は、朝の涼しい風の流れに触れて、呼吸も





た。それは「粥座<sup>しゆくざ</sup>」というものであり、作法に従って食事するものであった。粥が入ったお椀一つ、沢庵ふた切れに梅干一つ、わかめと野菜の煮物がほんの少々でした。味噌汁などはなく、空腹であったらこれではとても足りないと思う内容であった。しかし、現代は、好きなものなんでも食べられ、飢えなど知らぬ時代であり、食べられる有難さを感じる食事でもありません。

こうして一泊二泊の青壮年部研

整い、心が落ち着いていくのがわかりました。

朝の坐禅が終わった後、朝食がありました。

修は無事終わりました。今回、和尚さんに勧められ始めて参加しましたが期待以上に得るものがあり、気分もとてもさわやかで満足いくものでした。研修終えてから、帰りに比叡山延暦寺に四人で参拝しました。あいにく小雨模様の雨でしたが、参拝者もまばらでゆっくりと見学できました。降る雨に打たれ控えめに咲くアジサイは、正に一隅照らす存在であった。比叡山延暦寺は信長にほぼすべて焼き滅ばされたが、今は何もなかったごとく、静かに、堂々と構えていた。流れ行く時のハザマにいる自分もいつかこの時にのまれて、滅すると思えば、感無量の想いでした。

出来れば、また行きたい気持ちが生じています。和尚さんどうもありがとうございました。同行の皆さんお疲れ様でした。



## 妙心寺参拝の旅

来る平成二十一年は、妙心寺開山無相大師様の六五〇年遠忌の正当年です。これに際し、全国の妙心寺派寺院の檀信徒の方々が、京都妙心寺へと参拝にまいります。本年三月より遠忌参拝が始まっております。圓福寺は来年平成十九年秋にお招きをいただいております。

開山様の遠忌法要は、五十年に一度の大法要です。この機会に私たちの本山妙心寺にお参りに行きましょう。

圓福寺 合掌



平成十八年上期お寺と和尚の記録抄

4月28日	東京教区役員会
5月2日	千葉市幼稚園協会稲毛ブロック会 写経会
7日	ご詠歌練習日
9日	月例役員会
12日	幼稚園、会計監査
17日	社会保険センター、「写経」講座
20日	土曜会 「夏の句会」
23日	ご詠歌、講師指導日
26日	東京教区第七部内会
30日	第二十三回花園会ゴルフ大会、於成田
31日	社会保険センター、「写経」講座
6月2日	月例役員会
4日	写経会
7日	社会保険センター、「写経」講座
9日～10日	土曜会 「尾瀬ヶ原新緑ハイキング」 男女十三名参加
21日	社会保険センター、「写経」講座
23日～24日	岩手霊桃寺副住職結婚式
24日～25日	全国花園会青壮年部研修会 於本山 四名参加
27日	ご詠歌、講師指導日
27日～28日	木曾福島興禅寺、先住職本葬

7月1日	千葉市幼稚園協会稲毛ブロック会 月例役員会
2日	写経会
5日	社会保険センター、「写経」講座
8日	初盆・新入檀信徒施餓鬼
9日	山門施餓鬼
10日	根岸円光寺、施餓鬼法話

▽毎週木曜日午後六時～ 木曜坐禅会  
坐禅三十分二回、終わって茶話。無料。初心者歓迎。

▽毎月第三土曜日午後六時～ 土曜会  
お寺とあなたを結ぶ自由空間。会費二千元。

▽毎月最終火曜日午後四時～ ご詠歌練習

▽毎月第一日曜日午後一時半～三時半 写経会  
「般若心経」の写経。見やすい大ききの字体です。  
正座できない人のために、イスとテーブルも用意。  
一期五回（事前申込制）。会費三千元。

花園会御和讃

ゆがしきその名花の園  
一枝のがおりとこしえに  
涅槃のみちをしめします  
そろびと微笑たとうべし

（お施餓鬼で奉詠された御和讃の歌詞です。）

お寺の情報公開ページ その十六

# 穴川風土記

本堂に、二枚の航空写真が飾ってあります。どちらも圓福寺を中心としたもので、一枚は昭和三十八年、もう一枚は昭和五十八年の空からの風景です。ご法事の合間などに、興味深くご覧になる方も少なくありません。やはり、ご自分の住んでいる場所が昔どうなっていたのかはどなたも気になるようです。

その反面、千葉市民は郷土愛に欠けるとよく言われます。千葉都民などという不名誉な言葉もあるようです。

そこで、前回に続いて、圓福寺がある穴川を中心にその歴史や地理についてご紹介いたします。

ご紹介くださるのは、圓福寺のすぐ裏に昭和三十年代からお住まいの熊倉浩さんです。ご趣味で、千葉の地誌について調べておられ、実際にご自分の足を運んで調べてもらっしやいます。

## 寺から半里（その2）

くわが町かど探索く

地図を広げ圓福寺にコンパスをあてる。二kmは昔の里程でいう半里である。北は宮野木ジャンクション、南は千葉公園が範囲となる。東をたどるとみつわ台か。西は千葉街道で黒砂を包み込む。これから寺を発ち道筋の幾つかを探索したいと思う。

### 陸軍補給基地と軍用鉄道

轟町は千葉陸軍兵器支廠、鉄道第一連隊材料廠、鉄道連隊都賀倉庫などの建物群で占められた陸軍の一大補給基地であった。旧国鉄千葉駅（現東千葉駅）からは軍用鉄道が引き込まれていた。戦後は施設を旧国鉄が使用し貨車が頻繁に往来していた。

経済大の構内には明治四十一年築造の「旧鉄道連隊材料廠・赤煉瓦



建造物」(千葉県指定文化財)が現存する。イギリス積技法の十連アーチ構造は見事、日本には類例がなく建築史上貴重なもので一見の価値がある。事前に大学に申込み見学



出来る。

軍用鉄道は旧千葉駅から千葉公園に沿いモノレール駅の下をくぐり競輪場脇から補給基地へと敷かれ、更に北に向かって伸びていた。現在

穴川橋から軽便道路を見る



真つ直ぐ穴側橋の下に至る。この辺では「軽便」と呼んでいたとは古老の話である。さらに広尾・実叻を通り津田沼の鉄道第二連隊（現千葉工大）から来る線路と接続し松戸方面へと続いていた。今この区間を新京成線（京成津田沼く松戸）が走っている。当時のSLは津田沼一丁目の八坂神社脇公園で見られる。

も地図上で容易に軌道の跡を辿ることが出来る。前述の旧消防署穴川支署を通りGS前で国道とクロスし

「天台池の原公園」から  
谷をのぼり圓福寺へ

経済大から一二六号に戻り千葉信金から東に入る。基地からの軍用「軽便」はこの道も通っていた。都賀川（現葭川上流）を横切り殿台・萩台方面へと伸びていた。

千草台団地入口のバス停に立つ。広い谷の中にいるという実感がわかる。ここから谷を遡って圓福寺まで行ってみたい。団地下の運動広場を抜けると「天台池の原公園」である。埋められた池の跡には公民館が建っている。

天台四丁目の「天覧台跡の碑」（前述）は前方右上にある。谷の底も両脇の傾斜地も立錐の余地なく家々で一杯だ。その間を縫う細い道を進むと穴川駅からくる旧道との交差点に天台町集会所がある。傍らに弥栄神社があった。「弥栄」

なる響きで戦争時代に引き戻されたようないやな思いがよぎったが旧陸軍歩兵学校建立と分かって納得。

池の原公園にあった弁天社がここに移されたと聞き見回したが見つからなかった。

谷の道は坂となり穴川郵便局前に出る。さらにモノレール下（軍用鉄道跡）を横切り元ケイヨーから国際理工専門校に向かう。学校の隣のは谷の痕跡を示している。道路などなかった昔の地形は想像しにくいかもしれないがその最奥が圓福寺である。お寺に到達したら本堂に掲げてある昭和三十八年の航空写真を見るがいい。今登ってきた谷がはつきり読み取る

弥栄神社





メートル落ち込んでい  
るがもとは山が道から

ことが出来よう。当時田畑が続き  
緑なす谷はウォーキングには格好  
のルートであった。  
園生貝塚・千葉山・  
園生池・園生本村  
軍用鉄道のため開削して架けた  
のが「穴川橋」である。橋脚は筋交  
いを入れた鉄骨組で両方からレ  
ルを挟む形で二脚立てられてい  
た。昭和三十年代レール撤去の跡  
に残る枕木を踏んで橋の下を車が  
やっと通り抜けて行った。今の橋  
は昭和五十五年に架け替えられた  
が近年まで市内では珍しかった立  
体交差の陸橋である。  
橋の袂を左に入り裏道を穴川駅  
へ向かう。並んだ家々の前は数

続いていた。宅地造成さ  
れた後、保存区域のため  
中止命令が出たと聞く  
(昭和四十五年頃?)。  
ここが縄文中期の「向原  
遺跡」である。今も縄文土器が見  
つかることがある。  
駐車場に数十センチもある切り  
株が、崩れたアスファルトから覗  
いている。一帯は鬱蒼と昼なお暗  
い森でこの道も細い山道に過ぎな  
かった。駅前「千葉市遺跡百選・  
園生貝塚」の碑がある。西側の森  
が縄文時代中〜晩期の有名な貝塚  
である。住居址・石郭石棺・人骨が  
出土している。かつては「長者山  
貝塚」とも呼ばれ、森に入ると縄  
文の貝が累々と白く露出してい  
る。東京湾産で現在と同じ貝類で  
あることがわかつている。  
京葉道路を渡るとここから十六  
号線になる。スポーツセンターは



昭和四十八年「若潮国体」に合わせ  
てリニールアルされ道路も今のよ  
うに整備されたが細く曲がって延  
びていた旧道の名残りが今も随所  
に見られる。  
スポーツセンターの向いは「千  
葉山」(千葉市指定遺跡)という。  
国道から一段高く祀られているの  
は「園生八臂弁財天尊」。もとは茅  
葺屋根のお堂で野球場側にあつ  
た。広い境内で池があつたとい  
う。あやめ台小学校に向かつて緩  
やかな坂を行くと右側に「星神宮」  
の小さな祠がある。千葉氏が守護神  
として信仰した「妙見菩薩」を祀  
る。林の中に十数基の塚が見える  
が中世の墳墓で千葉氏累代の墓地

園生市民の森



だった。寛文十年千葉神社に南接する大日寺へ墓を移したと記録にある（大日寺は前述）。何れの塚か知るよし

もないが古文書には正治三年に死亡した千葉介常胤を「千葉山に葬る」とある。先へ進むと「園生市民の森」に当たる。季節を問わず散策と休息には最適な場所である。森に入ると古墳（円墳）がある。この付近は畑のあちこちに古墳が沢山あったが開発とともに消滅してしまっただ。

一息入れてから森を抜けあやめ台団地の中を通過してファミールハイツ下に降りる。「草野水路」に流れる「園生池」は暗渠となつてしまった。池には菖蒲が咲きすぐ下

まで谷津田が入っていた。水路は京葉道の下で開渠となり柏台小学校下で市道（穴川犢橋線）をくぐり園生本村へと入る。この辺は低地で度々の洪水に悩まされた。灌漑用の溜池があつて「堰の池弁才天」が祀られていたが今は南の山側でお堂に納まっている。

園生本村は山を背に大きな構えの旧家が並びそれらしい雰囲気がある。やや行くと「真言宗宝亀山金蔵院」である。裏山は中世の「園生城跡」で「金蔵院山」という。宝亀山の「亀」は、千葉氏の信仰する妙見菩薩が「霊亀」の上に立つ姿を意味し千葉氏との関係が明白で



金蔵院

ある。境内に子易大明神・小安観音が祀られている。他所は知らずわが町周辺は実に子安観音の類が多く祀られている。

本堂の左上は「園生神社」である。「九曜紋」「月星紋」は千葉氏の信仰と庇護があつたしるしである。祭神は天御中主命（妙見菩薩と同じ神格）と外に十数柱の神々を合祀する。神社を出て石段の小道を登ると圓福寺から最も近い国土地理院の三等三角点が見つかる。更に四百m進むと巨木の森に園生神社の「奥社」がある。森閑とした長い参道の奥にやや小振りなお宮があつた。傍に大六天や道祖神を祀り天明、文化の年号が読める。（次号に続く。）



園生神社

穴川花園幼稚園

「園だより」「から」

「怒り」「は感情から、

「叱り」「は愛情から」

80年代前半のアイドルのヒット曲に♪純情・愛情・過剰に異常♪というのがありましたっけて、もう古いですよ。

話は子育てです。わが子の長所を伸ばしましょう、わが子はほめて育てましょうなどと、いつも口やかましくしてしまう親には、耳が痛いようなことばが育児雑誌や店頭の育児書の中に並んでいます。それを鵜呑みにして、怒ってはいけない、厳しいことを言わなければいけない、ましてげんこつやおしりをたたくなるとんでもない。そんなのは体罰だわ、なんて・・・。

善悪の判断を身につけるのは、

幼児期にこそ必要なことです。それも、一番身近で、一番長い時間一緒に過ごす親の務めです。良いことをしたときにはもちろんほめますが、悪いことをしたときにはきちんと叱らなければいけません。それも即座にです。ほめて育てましょうというのは、叱ってばかりの親に対していつていることばだと思えます。

先日、朝日新聞の生活欄に、「小学生の万引き、警察まかせ」という記事が載っていました。

広島県のスーパーで万引きをした子を捕まえた店長が、もうしませんとわめく子の名前も聞かずに近くの交番に連れて行ったそうです。また、福岡県のスーパーの従業員マニュアルには、子ども万引きを見つけたら、話を聞いたり説教したりせず、すぐに警察に通報するとなっているそうです。

小学校の校長先生でさえ、前科にならないうちなら「警察ざた」になって怖い思いをした方がいいとまでいいます。

こんな子どもたちは不幸です。小学生になっても善悪の判断ができませんのですから・・・。そんな子どもに育てなくなったら、わが子に良い子に育ててもらいたかったら、「叱る」ことです。ときには、愛情を持って「怒る」ことも必要です。でも、たいがい「怒り」は一時の感情から起こりますし、「叱り」は子どもに対しての親の愛情から生まれます。

その上で、ほめることが大切です。それも愛情からの「ほめ」にしておいてください。溺愛からのほめはいただけません。♪♪♪純情・愛情・過剰に異常♪♪♪過剰な「ほめ」は異常です。以上、今月のお話でした。

(純情な園長より)

## ◆第23回花園会ゴルフ大会◆

5月30日 於：グリッサンドゴルフクラブ

		グロス	ハンディ	ネット
優勝	柴田 勝美	87	15.6	71.4
準優勝	加藤 正義	91	18	73
3	矢野 弘明	86	12	74
4	向畑 鉄雄	86	12	74
5	常世田 政信	90	13.2	76.8
6	宮田 宗格	96	19.2	76.8
ベストアップ賞		常世田 政信		15
ベストグロス		矢野 弘明		86
ドラコン	佐藤 とも子	ニアピン	福田 雅男	
	武 光俊		矢野 弘明	
	正岡 宗之		向畑 鉄雄	
	矢野 弘明		矢野 弘明	

※ベストアップ賞は、前回から縮めたスコアを競う、花園会独自の賞です。

第二十三回の花園会ゴルフは初めて成田方面での開催。会場はグリッサンドゴルフクラブで、二十一名の参加者が競技をおこなった。池が多く配されたコースは、難易度が高く感じられ、特に最終

ホール、池に中の島があるホールでは、果敢に攻めるか安全に攻めるかでスコアが変わってくる難しさがあり、競技を面白くさせてくれた。しかし、終わってみれば新ペリアでの競技だったが、腕前の高い人が順当に上位を占めていた。

競技後のパーティは、圓福寺書院で行われ、成績発表、次回のコースや日程を決め、恒例の罰金の徴収など、和やかな雰囲気であった。

花園会ゴルフには、池ポチャ・シヨートホールでワンオンしない・バンカーなどの罰金が科せられており、今回の罰金総額は、二万五百円だった。この罰金は、チャリティーとして全額本山のおかげさま募金に寄付させていただいた。

ホール、池に中の島があるホールでは、果敢に攻めるか安全に攻めるかでスコアが変わってくる難しさがあり、競技を面白くさせてくれた。しかし、終わってみれば新ペリアでの競技だったが、腕前の高い人が順当に上位を占めていた。

競技後のパーティは、圓福寺書院で行われ、成績発表、次回のコースや日程を決め、恒例の罰金の徴収など、和やかな雰囲気であった。



平成17年度花園会会計報告			
平成17年4月1日～平成18年3月31日			
	科目	金額	備考
歳入	前年度繰越金	¥335,653	
	お寺より活動費	¥1,435,000	
	行事収入	¥3,200	年越し参り、17年度は幼稚園工事のため地蔵盆休み
	参加費収入	¥641,000	土曜会・新年会・写経会ほか各種行事参加費を含む。
	雑収入	¥4	
	<b>歳入合計</b>	<b>¥2,414,857</b>	
歳出	宗派賦課金	¥166,000	本山納付花園会費・災害見舞金ほか
	行事費	¥803,147	年越し参り・福童会・土曜会・写経会・ご詠歌ほか
	事務費	¥178,305	行事案内状の印刷費・郵送料を含む。
	会議費	¥326,218	月例役員会ほか
	研修費	¥522,770	全国花園会青壮年部研修・部内役員研修ほか
	慶弔費	¥20,000	幼稚園上棟祝い、寺庭祖母香典
	寄付金	¥250,000	お寺に、内陣壇引き代金の一部として寄付
	人件費	¥100,000	事務手伝い謝礼
	雑費	¥0	
	<b>歳出合計</b>	<b>¥2,366,440</b>	
剰余金の¥48,417は、次年度繰越金としました。			

こどもたちのお盆



地蔵盆のご案内

8月26日 (土)

午後5時

供養受付 (本堂にて)

5時半

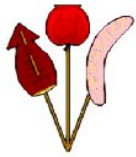
水子・ペット・人形供養

6時

みたまおくり  
御霊送り

8時

模擬店閉店・地蔵盆終了



八月二十六日



焼きそば、焼き鳥、玉こんにゃく、昔なつかしの駄菓子、  
ポン菓子の実演販売、冷たい生ビール、ジュース、ここ  
ろしずかに野点の<sup>のぼて</sup>一服



ご案内

◎ 供養のお申し込み  
添付の申込書を郵送して下さい。  
か、お電話にてお申込下さい。

\* 供養料

水子一霊位	三	千	円
ペット一霊位	千	円	
人形一体	千	円	

\* 供養料は当日の受け付けです。



山岡鉄舟母堂のお地蔵さんにちなんで、毎年開催されている「地蔵盆」も今年で第十五回。今年は八月二十六日です。  
参道の両側に、「禅童会」に参加した子どもたちが作った灯籠が飾られ、境内のわらべ地蔵たちにお灯明があげて、本堂では、水子供養、ペット・人形の供養。そのお灯明を頂いてのみたま送り、幼稚園児の盆踊りとなります。